

## 大気中放射能濃度測定結果（令和6年度）

単位：Bq/m<sup>3</sup>

区分	測定位置	令和6年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
α線	右岸側 (TR-1)	0.00739～ 0.153	0.00743～ 0.138	0.00740～ 0.140									
	四阿付近 (TR-2)	ND～ 0.0755	ND～ 0.0591	ND～ 0.0697									
β線	右岸側 (TR-1)	0.0189～ 0.367	0.0190～ 0.269	0.0186～ 0.313									
	四阿付近 (TR-2)	ND～ 0.181	0.0191～ 0.143	0.0154～ 0.134									

※ND：本連続測定装置では検出下限値は一定でなく明記できない。検出部の性能値として記載されている仕様上のα線の検出下限値は0.00025 Bq/m<sup>3</sup>。β線の検出下限値は0.0020 Bq/m<sup>3</sup>。

### 【測定値について】

- ・ α線の測定値、β線の測定値について

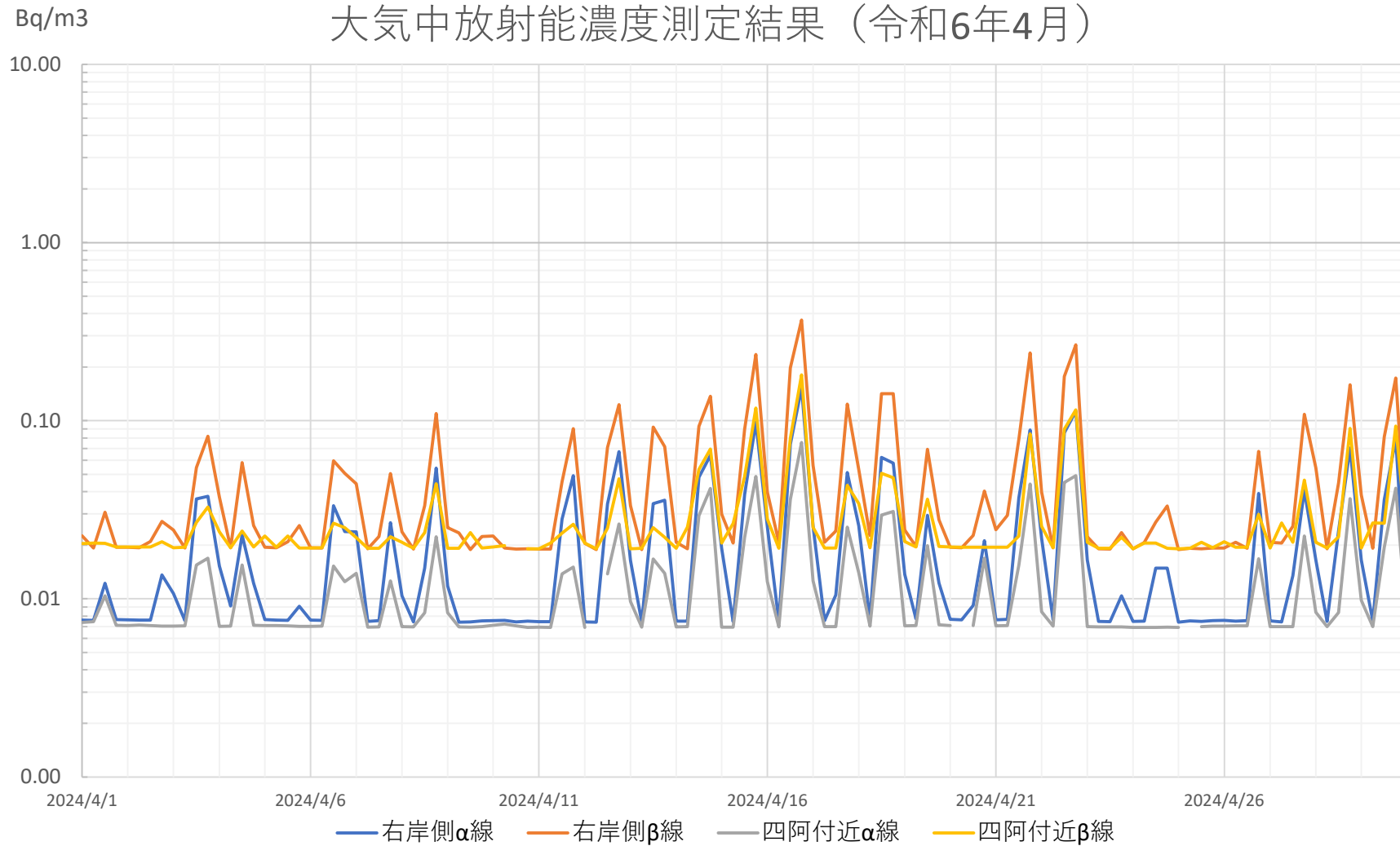
α線及びβ線の測定値は、大気中放射能濃度連続測定装置で大気中からダストをろ紙上に6時間連続吸引して集じんし、ろ紙に吸着したダストを測定することにより、それぞれα線、β線を放出する放射性核種の放射能濃度を求めたものです。吸引終了後11時間50分後から12時後の10分の平均測定値を表示しています。

- ・ 測定値は、令和6年4月1日以降の値です。

- ・ 値の変動理由について

大気中放射能濃度の値は、風で土やちりが舞い上がったり、天然のラドンなどの放射性物質の影響で変動することがあります。これらの値は震災以前からも検出されています。

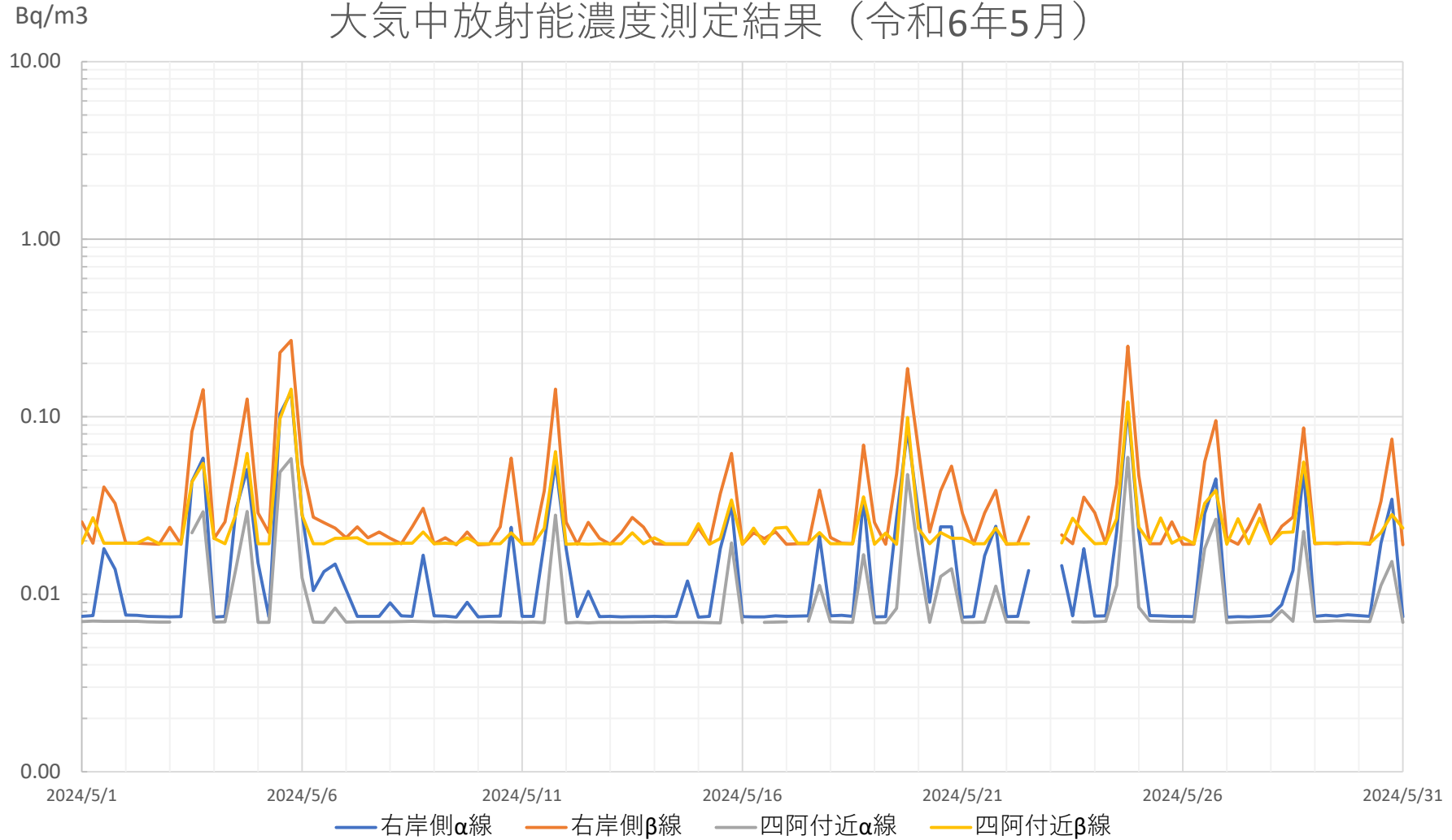
# 大気中放射能濃度測定結果（令和6年4月）



単位：Bq/m<sup>3</sup>

4月	測定位置		右岸側	四阿付近
	区分		(TR-1)	(TR-2)
	α線	0.00739~0.153	ND~0.0755	
β線	0.0189~0.367	ND~0.181		

# 大気中放射能濃度測定結果（令和6年5月）

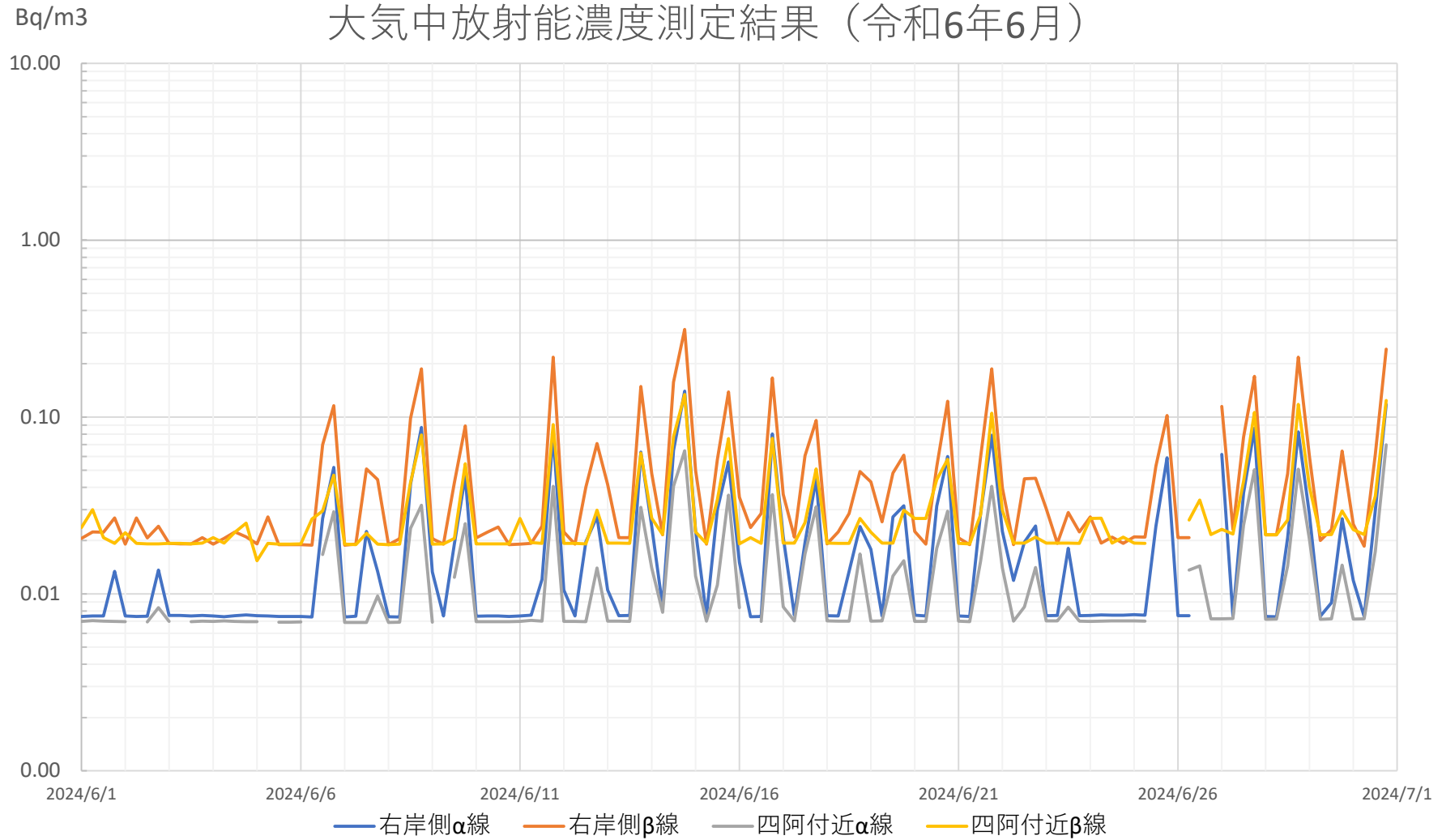


※ 5月22日は、メンテナンスのため欠測しました。

単位：Bq/m<sup>3</sup>

5月	測定位置		
	区分	右岸側 (TR-1)	四阿付近 (TR-2)
	α線	0.00743~0.138	ND~0.0591
β線	0.0190~0.269	0.0191~0.143	

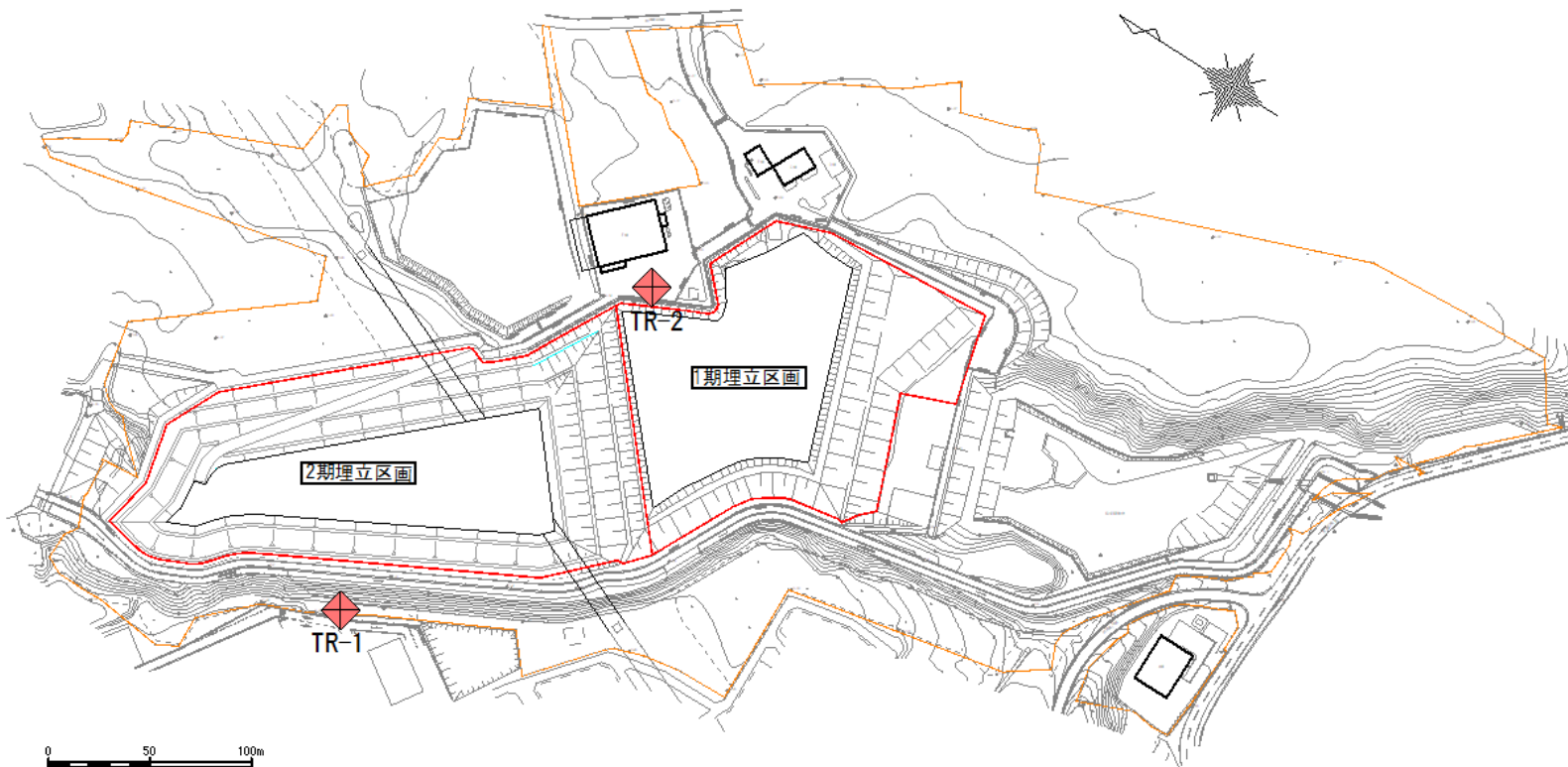
# 大気中放射能濃度測定結果（令和6年6月）



※ 6月25～26日は、メンテナンスのため欠測しました。

6月	測定位置	
	区分	
	α線	右岸側 (TR-1)      四阿付近 (TR-2)
β線	0.00740～0.140      ND～0.0697	
		0.0186～0.313      0.0154～0.134

# 大気中放射能濃度（ $\alpha$ 線・ $\beta$ 線）測定位置図



ダストモニタ連続測定